

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-534889 (P2004-534889A)

【公表日】平成 16 年 11 月 18 日 (2004.11.18)

【年通号数】公開・登録公報 2004-045

【出願番号】特願 2003-511238 (P2003-511238)

【国際特許分類】

C 0 8 G 64/06 (2006.01)

G 1 1 B 7/253 (2006.01)

G 1 1 B 7/24 (2006.01)

G 1 1 B 7/26 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 64/06

G 1 1 B 7/24 5 2 6 G

G 1 1 B 7/24 5 3 1 Z

G 1 1 B 7/26

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 20 日 (2005.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

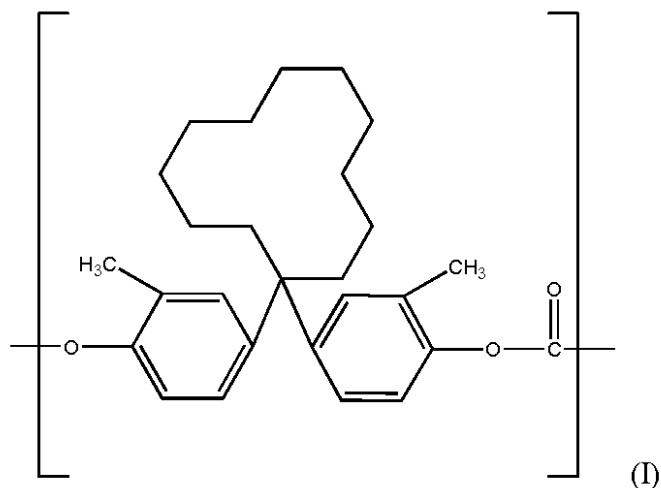
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

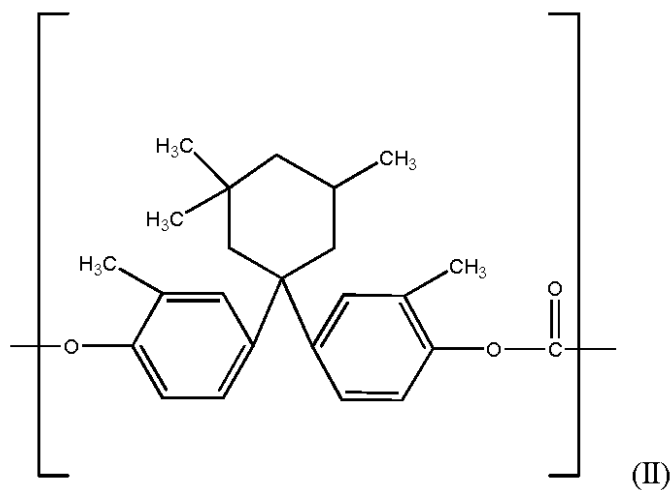
【請求項 1】

(1) 1 以上のポリカーボネート部分を含む基板と、(2) 基板上に設けられた 1 以上のデータ層とを含むデータ用記憶媒体であって、上記ポリカーボネートが、下記の構造 (I)、(II)、(III)、(IV) 又はその組合せからなる 1 種以上の化合物を含み、150 を超えるガラス転移温度を有する、記憶媒体。

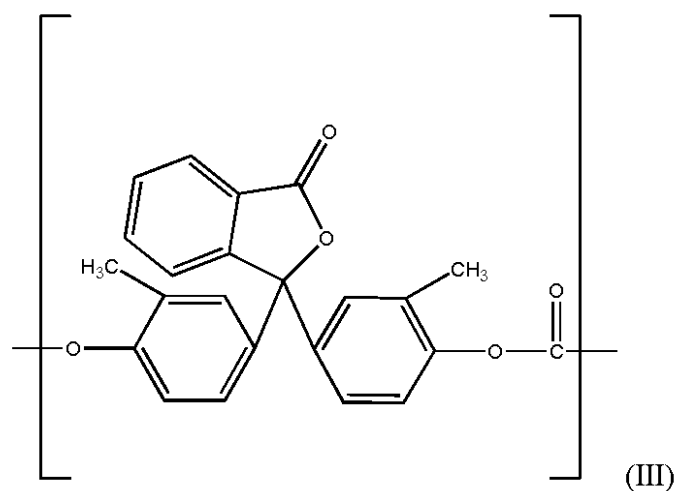
【化 1】



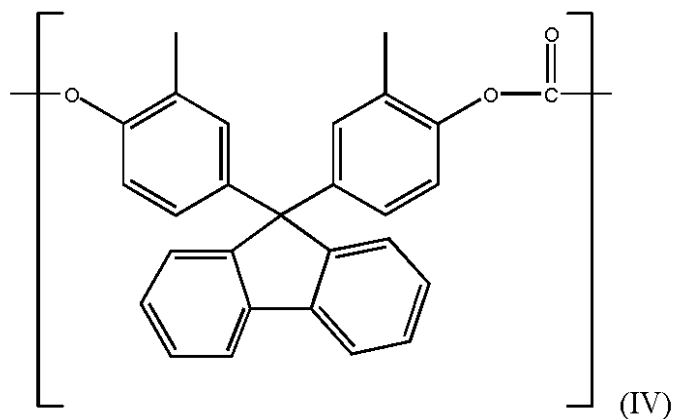
【化 2】



【化 3】



【化 4】



【請求項 2】

前記ポリカーボネートが 24 の温度で 0.04 を超える機械的減衰係数を有する、請求項 1 記載の記憶媒体。

【請求項 3】

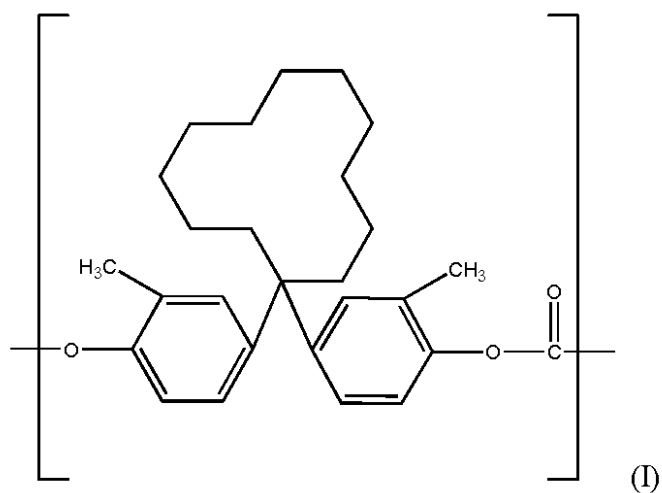
前記ポリカーボネートがポリスチレンを標準として 10000 ~ 100000 の範囲の重量平均分子量を有する、請求項 1 記載の記憶媒体。

【請求項 4】

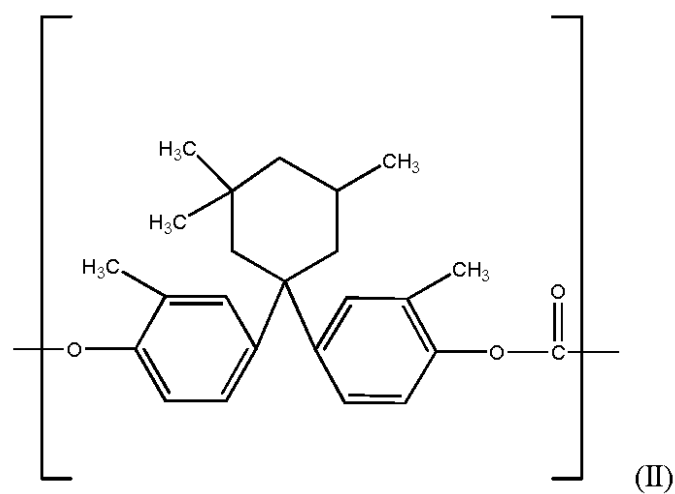
下記の構造 (I)、(II)、(III)、(IV) 又はその組合せからなる 1 種以上の化合物

を含む、改善された制振性能を有するポリカーボネート組成物であって、ポリカーボネートが24の温度で0.04を超える機械的減衰係数及び150を超えるガラス転移温度を有する、ポリカーボネート組成物。

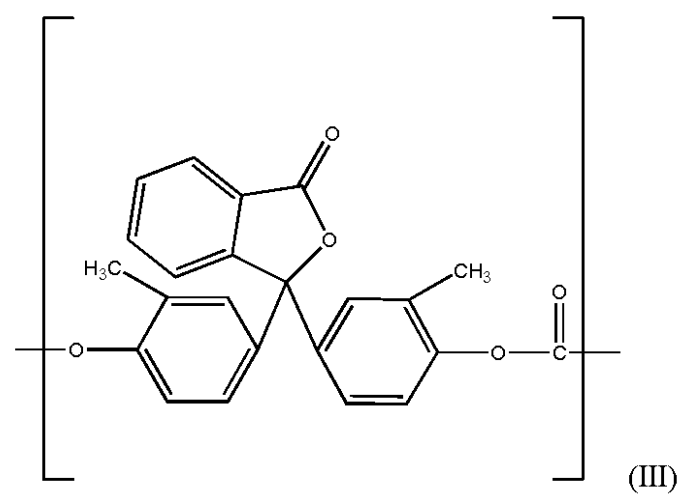
【化5】



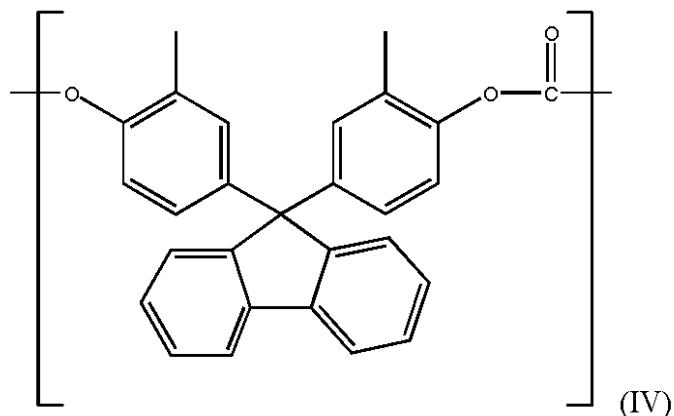
【化6】



【化7】



【化 8】



【請求項 5】

前記ポリカーボネートがポリスチレンを標準として 10000 ~ 100000 の範囲の重量平均分子量を有する、請求項 4 記載のポリカーボネート組成物。

【請求項 6】

前記ポリカーボネートがポリスチレンを標準として 10000 ~ 50000 の範囲の重量平均分子量を有する、請求項 5 記載のポリカーボネート組成物。

【請求項 7】

前記ポリカーボネートがポリスチレンを標準として 12000 ~ 40000 の範囲の重量平均分子量を有する、請求項 6 記載のポリカーボネート組成物。

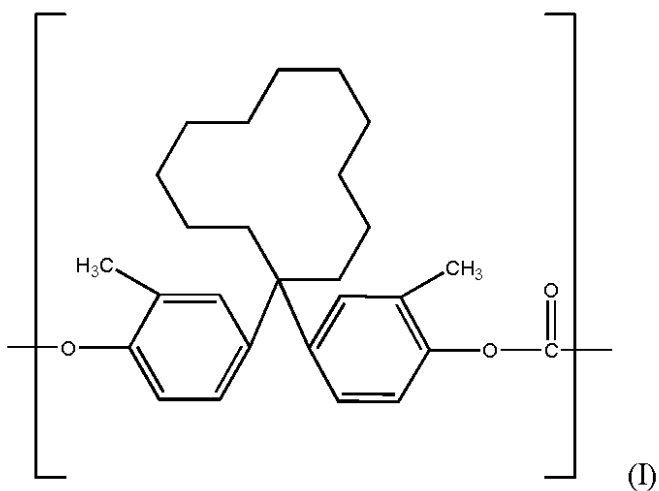
【請求項 8】

前記ポリカーボネートが 24 の温度で 0.1 を超える機械的減衰係数を有する、請求項 4 記載のポリカーボネート組成物。

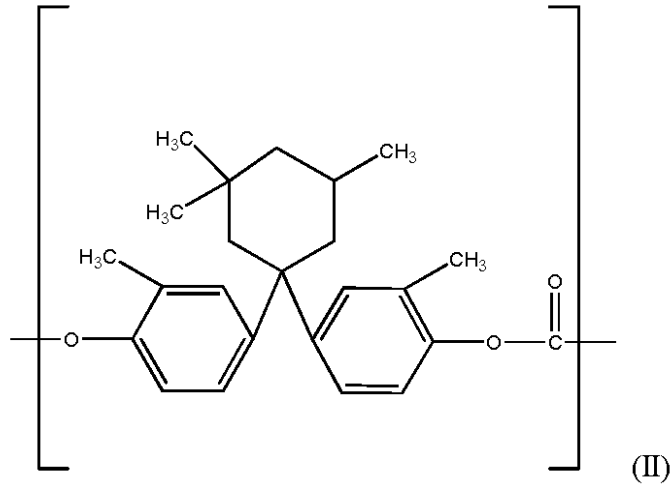
【請求項 9】

物品の制振性能を改善するための方法であって、下記の構造 (I)、(II)、(III)、(IV) 又はその組合せからなる 1 種以上の化合物を有するポリカーボネートで物品を作ることを含んでなり、上記ポリカーボネートが 24 の温度で 0.04 を超える機械的減衰係数及び 150 を超えるガラス転移温度を有する、方法。

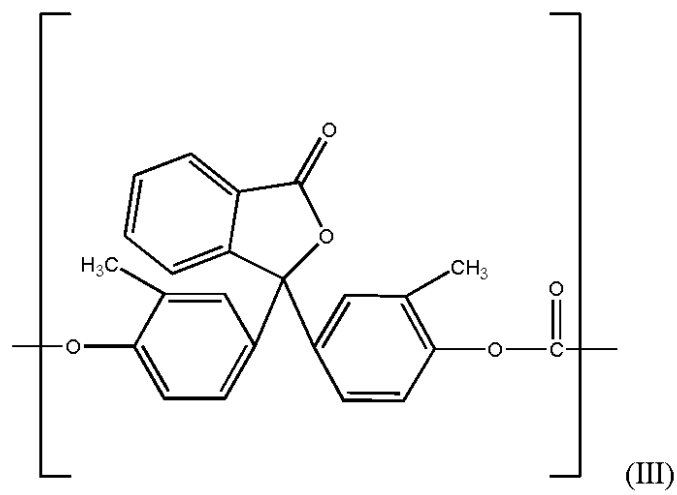
【化 9】



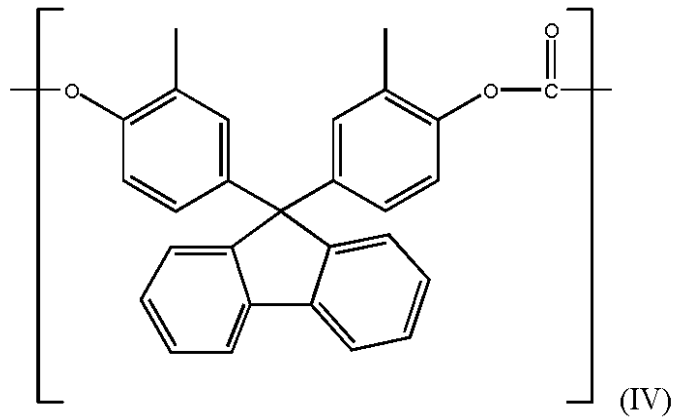
【化 1 0】



【化 1 1】



【化 1 2】



【請求項 1 0】

物品がデータ用記憶媒体からなる、請求項 9 記載の方法。